

子どもに関する記事 要約

白鷹町の荒砥高（地主佳子校長）は、社会の出来事に関心を高めてもらい、視野を広げてほしいと、選択科目「子どもの発達と保育」の授業の中で、生徒たちが子どもに関する記事を山形新聞から探して要約し、感想を発表する取り組みをしている。

同科目は3年生10人が選択し、毎週、生徒が発表している。指導担当は佐藤暁子教諭（49）で5年ほど前から続けている。11月16日の授業では、岡部優さん（18）が、同8日付の置賜版から小国町内の保育園児がやまがた被害者支援センターに寄付金を贈呈したという記事を紹介。「園児自らが活動を通して寄付することで、ボランティアへの気持ち芽生えてくる」と語った。

新野護さん（18）は「新聞記事に関心を持つようになった」と言う。小関理那さん（18）は「たくさん情報の中

荒砥高

から何が必要かを判断することが求められると感じる。判断する際に新聞を活用したい」と小林愛唯さん（18）は「新聞から新しい発見があり、子どもに関する話題は将来にも生かせる」と話していた。

（柳沢明子）

